

中野こども病院ニュース

平成27年7月10日発行 第23号

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

夏かぜが流行中です



夏かぜって？

一般的には5月から8月にかけてみられるウイルス感染症です。ほとんどはエンテロ系と言われるウイルスです。特徴として、水に強いこと（そのためプールなどで感染しやすい）、腸管系ウイルスと言われ、腸内で増えて便中に排泄されます。

熱発だけなら自宅で様子を見て大丈夫ですか？

突然の高熱で発症することが多いですが、目やにやのどの痛み、おう吐・下痢、頭痛、発疹など様々な症状を伴います。熱だけならあわてる必要はありませんが、他の症状を伴ってごはんが食べられない、グッタリするなどの症状があれば早めに受診しましょう。

高熱で時々震えています。これってけいれんですか？

高熱の時は悪寒（おかん）といって、ブルブルからだが震えることがあります。けいれんとの違いは、悪寒の時は意識はあること（呼びかけたら反応してくれます）、時間が短い（数秒から数十秒ブルブルします）ことです。ただし悪寒が見られるときは急激に体温が上がっていくサインですので注意してください。

寝るときはエアコンをつけても大丈夫ですか？汗をかいたほうがいいのか？

室温・湿度を適切に保ってあげることは重要です。逆に無理に汗をかかそうとすると、熱中症やけいれんを引き起こす可能性があります。

食欲なくてご飯を全然食べません。点滴を受けたら元気になりますか？

点滴の目的は失われた水分とミネラル（塩分など）を補うことにあります。脱水の時は効果がありますがカロリーを補うことは難しいので、食べやすく消化しやすい炭水化物で補いましょう。

夏かぜと熱中症の違いは？

夏かぜはウイルスの感染により、からだか防御反応を起こして体温があがります。熱中症は高温多湿の環境下で水分やミネラルが汗や呼吸から失われて、体温が上昇したり様々な症状を引き起こします。いずれの場合もクーリングとミネラルを含んだ水分補給は重要です。



高熱が出た時のおうちでのケア

○水分補給を心がけましょう

熱がある時は水分が失われやすいのでお茶や果汁、子ども用のイオン水などを、こまめに与えましょう。

○体を温めるときと、冷やすとき

手足が冷たい時や、震えて顔色が悪い時（悪寒）は温めてあげましょう。

※服を厚着させたり、毛布でくるむと熱がこもり、余計に高熱になってしまうことがあります。本人の状態を見ながら調整してください。手足が熱く、頬が赤い時は冷やしてあげましょう。

※嫌がる時は無理にしくなくても大丈夫です。

○解熱剤の使用について

うなされて眠れないとき、ぐすついて飲食ができないときなどに医師の指示された量と回数を守って使用しましょう。

※解熱剤を使用したからといって病気が早く治るわけではありません。使いすぎると熱の上げ下げで余計にお子様の体力を消耗させてしまうこととなります。

当院のウイルス検出状況

手足口病が全国的にも流行しており、まだまだ流行が続く予想です。

アデノウイルス（プール熱）が検出されています。数は少ないです。

溶連菌が検出されています。

ヘルパンギーナが増えてきておりこれから流行する予想です。

当院で行っている検査で分かるウイルスの中で特に流行しているウイルスは今のところありません。



〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17
社会医療法人 真美会 中野こども病院
TEL: 06-6952-4771

<http://www.nakano-kodomo.or.jp>

病院グランドオープンしました！！

新館では予防接種外来や乳児健診などの病気で来院されていないお子様を対象とした待合、診察室ができました。建物が別になりましたので、感染の心配もなくなり自由に待合スペースでお待ちいただけるようになりました。他の部門としては病児保育室、院内保育園（アリスの国保育園）、心理相談（臨床心理科）が新館にあります。



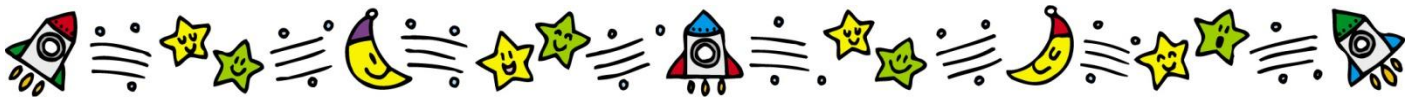
新館の待合です。このスペースに病気の患者様は来られることはありませんので安心してお待ちいただけます。トイレ、授乳室も完備しています。



新しく引っ越した病児保育室も広くなり、定員12名、預かるお子様も小学校6年生までと拡大されました。キャンセル待ちでお待ちいただくことも少なくなりますので是非ご利用ください。



新館正面入り口左側の扉が病児保育室の入り口になります。感染症の隔離部屋も完備されていますので、お子様の病状に合わせた保育が行えるように配慮されています。



当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が新しくできました病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料にご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せができました。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないよう、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしく申し上げます。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。